

免許状更新講習一覧(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
姫路獨協大学	【選択】クスリが辿る体の中の運命	くすりは、反対から読むとリスクになります。くすりは、病気を治してくれる反面、使い方を誤ると危険なものでもあります。そのため、くすりは、正しい量を、正しい方法で使うことが重要になります。本講習では、くすりの体内での運命(吸収、分布、代謝、排泄)を理解し、この運命が変わった時に生じる変化(相互作用、飲み合わせ)とその予防法について学習し、日常生活ならびに生徒の生活環境に還元することを目指します。	高良 恒史(薬学部 教授) 木下 淳(薬学部 講師) 高橋 稔(薬学部 助教)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年7月26日	教諭 養護教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭	6,000円	60人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】からだを動かす楽しさを学ぶ	からだを動かす体験を通じ、心を育て、学びの環境を考え、仲間を考える体育の楽しさを確認しましょう。仲間を信じてお互いの協力や努力を最大限に評価する取り組みを体験しましょう。周囲の環境に配慮し、お互いの心の安全と身体の安全を守るからだの動きを学びましょう。幼児教育から大学教育までの新しい学びの様式や気づき、学びの実践研究を通じて、感じる・動く・ひらく・かかわる・表すなどの新しい身体観・教育観・人間観を問い、からだの原点を追求する総合的な学習を実際に体験しましょう。	小田慶喜(医療保健学部教授) 松村雅代(医療保健学部准教授) 昌子 力(経済情報学部教授) 吉井 宏一郎(スポーツ特別選抜室相談役)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年7月28日	教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭	6,000円	50人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】幼児期にふさわしい生活を送るための指導法	「幼児期にふさわしい生活」の展開としての保育・教育につながる実践力や職能の確かめのための学びを目指す。幼稚園における教職課程を基本課題として、幼稚園教育の考え方、知識及び技能の習得を中心に最新の研究成果をふまえて授業を進める。授業は講義を基本とするが演習(対話的な学習過程)を組み込み、日々の実践上の課題にもアプローチできるようにする。	島崎 保(医療保健学部教授) 中 磯子(医療保健学部教授) 森田恵子(医療保健学部 教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月1日	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭	6,000円	60人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】プログラミング教育の現状と展望	諸外国でのプログラミング教育の取り組みや、それに呼応するように日本においても小学校でのプログラミング教育が必要であると言われるようになって、教員のICTスキルの向上がいつそう求められている。本講習では、プログラミング教育のカリキュラム等の紹介と、教育用プログラミング言語「Scratch」による小学生向けのプログラミング体験実習を行う。講習を通してプログラミング教育の意義や、各教科でどのように活用できるかを考える。	佐野智行(経済情報学部教授) 園田浩一(経済情報学部准教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月3日	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	6,000円	30人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】法教育を考える	新学習指導要領の告示や、裁判員制度の導入などに伴い、学校教育における「法教育」の重要性は、今後ますます高まっていくものと考えられる。小・中・高の段階において、どのようにして児童・生徒に「法」について教育していくべきかを、公法(憲法・行政法)、民事法、刑事法に関する具体的なケースを素材としながら、ディスカッションやロールプレイを通して、受講者のみなさんと共に模索してみたい。	道谷卓(法学部教授) 永田泰士(法学部准教授) 小林直樹(法学部准教授) 福山好典(法学部講師)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月3日	教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	6,000円	40人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】障害支援(福祉機器領域)論	先天的あるいは後天的に障害をもった場合のQOL(生活の質)を高めるための支援について学ぶ。特に障害の改善が望めない場合、障害を補う支援が必要になるが、福祉機器による支援もその一つである。ここでは、自助具や福祉用具に関する基本的事項について学び、現場での利用や活用ができることをねらいとする。	山形力生(医療保健学部教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月4日	教諭 養護教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	6,000円	45人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間	認定番号
姫路獨協大学	【選択】障害支援(福祉機器領域)論	先天的あるいは後天的に障害をもった場合のQOL(生活の質)を高めるための支援について学ぶ。特に障害の改善が望めない場合、障害を補う支援が必要になるが、福祉機器による支援もその一つである。ここでは、自助具や福祉用具に関する基本的事項について学び、現場での利用や活用ができることをねらいとする。	山形力生(医療保健学部教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月5日	教諭 養護教諭	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	6,000円	45人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】特別活動	新学習指導要領をベースに、特別活動を再度理解することから始める。参加者をグループ分けし、特別活動における課題を抽出し、討議等の作業を行う。特別活動の発展を歴史的に考察し、今後の発展性を探究した上で、現代の意義を明確にする。 また特別活動における学級活動等の特質を考え、学校教育の中での位置づけを理論的側面から探求、課題を設定し、受講者自ら体験し、体験後の問題点を明らかにした上で、解決に必要なものは何かを探求する。	上寺常和(医療保健学部特別教授) 小田慶喜(医療保健学部教授) 園田浩一(経済情報学部准教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月5日	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	6,000円	30人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】こども園・保育所・幼稚園における特別支援教育・保育について	平成28年4月より、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行される。そこに示される「合理的配慮」を中心として、以下の教育目的とする。①子どもの健康状態や障害の種類や程度が、子どもの成長発達、生活内容や学習課程にどのような影響を与えるのかを理解する②子どもの健康状態、安全性、機会均等及び非差別的措置を講じて、子どもの教育的ニーズにそった保育課程を考えることができる。③緊急時の対処として、乳幼児の救急蘇生、アレルギー対応(エピペン)を習得する。	村井弘育(医療保健学部 教授) 森田恵子(医療保健学部 教授) 小島光華(医療保健学部 特別教授) 森脇裕美子(医療保健学部 准教授) 田中麻貴(医療保健学部 准教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月6日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	20人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】「心を開く表現活動」～アサーショントレーニングと一行詩創作を通して～	アサーションとは、自分と相手の気持ちを大切にする表現技法です。「言い過ぎ」や「言いそびれ」を少なくし、「歩み寄り」のコミュニケーション能力を向上させます。その訓練の中で、よりよい人間関係を構築し、ラポールを深化させ、最終的に自分らしく生きることにつながる気づきを与えられます。また、自分の周囲の人に呼びかけの一行詩を作る中で、素直な自分を取り戻すことができます。今、まさに教育現場で必要とされる表現ツールです。	平岡清志(外国語学部特別教授) 後藤桂子(姫路獨協大学非常勤講師)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月6日	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	6,000円	60人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】ICTを活用した授業教材の利用法	学校教育におけるICT環境の導入・整備が進んでいる中で、授業におけるICT環境での教材活用の考え方・手法について講義演習をおこなう。情報機器やネットワークの整備が進む教育環境で、ICTを活用した授業の事例や演習を通して、その有効性や活用方法について考える。黒板とチョークとデジタル化された学習教材の有効利用法について具体的な機器操作も含めて実習する。	佐野智行(経済情報学部教授) 園田浩一(経済情報学部准教授) 野口義栄(姫路獨協大学非常勤講師)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月9日	教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭	6,000円	30人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	
姫路獨協大学	【選択】暮らしの中の数理分析	本講習では、暮らしの中の身近な問題から、それらの奥に潜む数理を抽出・分析し、真に必要な基礎学力とは何かを考える。『暮らしの安全を支える一暗号理論と「余り」の数学』、『考える力を磨いて、人間力を高める』、『オープンソースソフトウェアの活用』の3つのテーマに取り組み、3つのテーマでは、この講習によってオープンソースが学校で有効に活用され、教育現場での仕事の質と効率が一層向上することを目指す。	山岸 規久道(経済情報学部教授) 秋本 義久(経済情報学部教授) 杉山 武司(経済情報学部教授)	兵庫県姫路市	6時間	平成28年8月23日	教諭	中学校教諭(数学・理科)、高等学校教諭(数学・理科・情報・工業)	6,000円	40人	平成28年4月18日～平成28年4月22日	